

# 2022 年度報告 横浜市青少年育成センター

## 1 施設の管理運営

2022 年度の施設運営では、上半期に発生した新型コロナ第 7 波の影響もあり、全体として昨年度を上回る回復を果たしたものの、やや抑え気味の結果となりました。全体的にはコロナ禍に対する社会的対応の緩和が進んだことで、施設として感染拡大防止対策を行ないながら制限緩和を適時進めるなど、市内の青少年育成活動の回復を促す運営を心掛けてきました。また、コロナ禍で高まったオンライン活用のニーズに対応するため、会議や研修会でオンライン利用ができるようオンライン機材の貸出サービスとサポート対応の充実、キャッシュレス決済システムの導入など、団体活動の支援、利用者の利便性向上を図ってきました。

利用者対応では、利用者アンケートはもちろん、青少年育成者・指導者団体との意見交換を行なうことで、常に利用しやすく活動しやすい施設をめざして運営に取り組みました。

### 【開館日数・利用状況】

年度	開館日数	利用団体	利用人数	印刷室利用	相談件数	稼働率
2018	325 日	2,834 件	37,918 人	396 件	71 件	55.4%
2019	311 日	4,105 件	50,857 人	548 件	93 件	66.1%
2020	281 日	2,010 件	19,625 人	292 件	71 件	39.8%
2021	339 日	3,072 件	30,561 人	472 件	75 件	45.9%
2022	340 日	3,850 件	42,871 人	618 件	108 件	56.5%

※2020 年 3 月～5 月は新型コロナウイルスの影響で臨時休館となっています。

## 2 施設の主な事業

### (1) 青少年を支える人材の育成（講座・研修、ネットワーク形成の充実）

今年度もコロナ禍に対応してオンライン形式やハイブリット形式など様々な形式で人材育成事業を行ない、青少年への関心や育成者関係の学ぶ機会を確保しました。

青少年理解の基礎講座では、社会的関心が高い「ヤングケアラー」「セクシャルマイノリティ」「ひとり親家庭」などのテーマで理解研修を実施したほか、青少年活動の実践者向けの専門研修では大人も学ぶ機会が少ない「性教育」を取り上げ、高い評価を得ることができました。

青少年活動の関係者のネットワーク形成では「子ども・若者に関わる関係者の大交流会」「ユースゼミ」を開催することで、コロナ禍でも活動する個人や団体がつながり、業種や年代を超えた学び合いと関係づくりに寄与しました。また、大学生によるオンラインを活用した地域活動の取材・発信する社会参加プログラムを継続して行なうなど、次世代の担い手養成にも取り組みました。

### (2) 青少年育成活動等に関する情報の収集・提供（相談・情報提供など）

相談窓口には、コロナ禍の落ち着いたことで活動再開の機運が高まり、団体や関係機関からコロナ禍で活動する工夫や企画の助言、講師紹介など、事業に関する相談が目立ちました。情報提供では SNS を活用した活動発信に加えて、定期的に青少年課題啓発や活動団体紹介のパネル展を行なうなど、様々な形で情報発信を行ないました。収集する青少年関連図書の貸出では、WEB サービス「リブライズ」を導入し、蔵書の有効活用に努めました。また、関内周辺の地域特性に応じた青少年育成のモデル事業では、若者相談・支援を行う団体への調査や、まちの保健室活動をテーマに参加者・団体と意見交換会を行ない、今後の事業展開につながる関係を築くことができました。

会議室・スタジオ利用状況

月	開館 日数	減免 件数	コマ数 (a)	利用団体数(b)					稼働率(b/a)					利用人数			
				計	青少年	指導者	一般	ユース	全体	青少年	指導者	一般	ユース	計	青少年	指導者	一般
累計	340	272	6,820	3,850	392	1,657	1,685	116	56.5%	5.7%	24.3%	24.7%	1.7%	42,871	8,219	20,758	13,894
4	29	4	588	328	46	122	158	2	55.8%	7.8%	20.7%	26.9%	0.3%	3,437	547	1,676	1,214
5	29	18	558	292	8	143	140	1	52.3%	1.4%	25.6%	25.1%	0.2%	3,263	537	1,835	891
6	29	16	598	325	19	149	147	10	54.3%	3.2%	24.9%	24.6%	1.7%	3,718	877	1,597	1,244
7	29	26	578	348	30	162	150	6	60.2%	5.2%	28.0%	26.0%	1.0%	4,876	1,173	2,548	1,155
8	28	8	566	286	30	98	154	4	50.5%	5.3%	17.3%	27.2%	0.7%	2,578	645	795	1,138
9	28	22	556	307	18	124	156	9	55.2%	3.2%	22.3%	28.1%	1.6%	3,415	481	1,782	1,152
10	30	42	600	378	57	150	159	12	63.0%	9.5%	25.0%	26.5%	2.0%	3,722	636	1,771	1,315
11	29	49	578	309	17	127	143	22	53.5%	2.9%	22.0%	24.7%	3.8%	3,147	395	1,309	1,443
12	27	16	554	276	29	116	123	8	49.8%	5.2%	20.9%	22.2%	1.4%	2,715	295	1,213	1,207
1	27	19	544	315	23	159	122	11	57.9%	4.2%	29.2%	22.4%	2.0%	3,170	465	1,645	1,060
2	26	32	512	318	59	138	103	18	62.1%	11.5%	27.0%	20.1%	3.5%	3,360	685	1,733	942
3	29	20	588	368	56	169	130	13	62.6%	9.5%	28.7%	22.1%	2.2%	5,470	1,483	2,854	1,133

内訳

	月	コマ数 (a)	利用団体数(b)					稼働率(b/a)					利用人数			
			計	青少年	指導者	一般	ユース	全体	青少年	指導者	一般	ユース	計	青少年	指導者	一般
研修室1累計		1,228	915	54	581	197	83	74.5%	4.4%	47.3%	16.0%	6.8%	23,374	4,038	13,389	5,947
	4	106	79	3	48	27	1	74.5%	2.8%	45.3%	25.5%	0.9%	1,935	235	1,141	559
	5	100	73	0	55	17	1	73.0%	0.0%	55.0%	17.0%	1.0%	1,880	353	1,184	343
	6	108	77	2	46	21	8	71.3%	1.9%	42.6%	19.4%	7.4%	2,038	507	939	592
	7	104	81	3	61	15	2	77.9%	2.9%	58.7%	14.4%	1.9%	2,680	502	1,701	477
	8	102	70	5	39	22	4	68.6%	4.9%	38.2%	21.6%	3.9%	1,316	344	524	448
	9	100	78	2	53	17	6	78.0%	2.0%	53.0%	17.0%	6.0%	1,806	162	1,193	451
	10	108	88	16	48	14	10	81.5%	14.8%	44.4%	13.0%	9.3%	1,968	288	1,111	569
	11	104	72	3	38	15	16	69.2%	2.9%	36.5%	14.4%	15.4%	1,579	78	857	644
	12	100	59	2	39	15	3	59.0%	2.0%	39.0%	15.0%	3.0%	1,437	68	792	577
	1	98	70	0	47	16	7	71.4%	0.0%	48.0%	16.3%	7.1%	1,564	211	883	470
	2	92	81	12	49	5	15	88.0%	13.0%	53.3%	5.4%	16.3%	1,899	345	1,184	370
	3	106	87	6	58	13	10	82.1%	5.7%	54.7%	12.3%	9.4%	3,272	945	1,880	447
研修室2累計		1,228	778	59	415	285	19	63.4%	4.8%	33.8%	23.2%	1.5%	7,996	1,356	3,747	2,893
	4	106	63	4	33	26	0	59.4%	3.8%	31.1%	24.5%	0.0%	640	69	296	275
	5	100	51	0	36	15	0	51.0%	0.0%	36.0%	15.0%	0.0%	513	39	335	139
	6	108	72	6	38	26	2	66.7%	5.6%	35.2%	24.1%	1.9%	680	114	314	252
	7	104	78	10	41	27	0	75.0%	9.6%	39.4%	26.0%	0.0%	1,094	324	490	280
	8	102	56	6	28	22	0	54.9%	5.9%	27.5%	21.6%	0.0%	431	111	129	191
	9	100	58	1	33	24	0	58.0%	1.0%	33.0%	24.0%	0.0%	590	72	308	210
	10	108	80	11	36	31	2	74.1%	10.2%	33.3%	28.7%	1.9%	676	99	279	298
	11	104	62	0	33	24	5	59.6%	0.0%	31.7%	23.1%	4.8%	595	75	227	293
	12	100	59	2	28	25	4	59.0%	2.0%	28.0%	25.0%	4.0%	601	64	253	284
	1	98	66	0	38	24	4	67.3%	0.0%	38.8%	24.5%	4.1%	699	88	361	250
	2	92	58	6	29	21	2	63.0%	6.5%	31.5%	22.8%	2.2%	579	98	240	241
	3	106	75	13	42	20	0	70.8%	12.3%	39.6%	18.9%	0.0%	898	203	515	180
ミーティングルーム累計		1,228	657	27	301	318	11	53.5%	2.2%	24.5%	25.9%	0.9%	3,970	574	1,723	1,673
	4	106	53	4	14	34	1	50.0%	3.8%	13.2%	32.1%	0.9%	283	37	78	168
	5	100	51	0	29	22	0	51.0%	0.0%	29.0%	22.0%	0.0%	280	22	153	105
	6	108	60	3	34	23	0	55.6%	2.8%	31.5%	21.3%	0.0%	382	64	197	121
	7	104	59	1	24	32	2	56.7%	1.0%	23.1%	30.8%	1.9%	441	75	198	168
	8	102	42	3	14	25	0	41.2%	2.9%	13.7%	24.5%	0.0%	288	63	68	157
	9	100	53	3	17	31	2	53.0%	3.0%	17.0%	31.0%	2.0%	365	74	121	170
	10	108	59	2	26	31	0	54.6%	1.9%	24.1%	28.7%	0.0%	326	25	163	138
	11	104	56	2	32	21	1	53.8%	1.9%	30.8%	20.2%	1.0%	327	76	131	120
	12	100	43	2	15	25	1	43.0%	2.0%	15.0%	25.0%	1.0%	221	29	63	129
	1	98	63	3	36	24	0	64.3%	3.1%	36.7%	24.5%	0.0%	390	28	239	123
	2	92	57	3	33	20	1	62.0%	3.3%	35.9%	21.7%	1.1%	315	31	167	117
	3	106	61	1	27	30	3	57.5%	0.9%	25.5%	28.3%	2.8%	352	50	145	157
和室累計		1,228	475	17	316	142	0	38.7%	1.4%	25.7%	11.6%	0.0%	4,289	1,446	1,806	1,037
	4	106	36	4	22	10	0	34.0%	3.8%	20.8%	9.4%	0.0%	261	82	136	43
	5	100	36	4	19	13	0	36.0%	4.0%	19.0%	13.0%	0.0%	350	112	153	85
	6	108	40	2	27	11	0	37.0%	1.9%	25.0%	10.2%	0.0%	382	174	133	75
	7	104	37	0	30	7	0	35.6%	0.0%	28.8%	6.7%	0.0%	393	197	146	50
	8	102	34	1	14	19	0	33.3%	1.0%	13.7%	18.6%	0.0%	268	79	69	120
	9	100	35	1	21	13	0	35.0%	1.0%	21.0%	13.0%	0.0%	370	123	160	87
	10	108	53	3	36	14	0	49.1%	2.8%	33.3%	13.0%	0.0%	457	157	214	86
	11	104	38	0	19	19	0	36.5%	0.0%	18.3%	18.3%	0.0%	382	118	89	175
	12	100	39	0	30	9	0	39.0%	0.0%	30.0%	9.0%	0.0%	221	79	101	41
	1	98	43	0	35	8	0	43.9%	0.0%	35.7%	8.2%	0.0%	287	79	155	53
	2	92	37	2	25	10	0	40.2%	2.2%	27.2%	10.9%	0.0%	319	106	140	73
	3	106	47	0	38	9	0	44.3%	0.0%	35.8%	8.5%	0.0%	599	140	310	149
スタジオ累計		1,908	1,025	235	44	743	3	53.7%	12.3%	2.3%	38.9%	0.2%	3,242	805	93	2,344
	4	164	97	31	5	61	0	59.1%	18.9%	3.0%	37.2%	0.0%	318	124	25	169
	5	158	81	4	4	73	0	51.3%	2.5%	2.5%	46.2%	0.0%	240	11	10	219
	6	166	76	6	4	66	0	45.8%	3.6%	2.4%	39.8%	0.0%	236	18	14	204
	7	162	93	16	6	69	2	57.4%	9.9%	3.7%	42.6%	1.2%	268	75	13	180
	8	158	84	15	3	66	0	53.2%	9.5%	1.9%	41.8%	0.0%	275	48	5	222
	9	156	83	11	0	71	1	53.2%	7.1%	0.0%	45.5%	0.6%	284	50	0	234
	10	168	98	25	4	69	0	58.3%	14.9%	2.4%	41.1%	0.0%	295	67	4	224
	11	162	81	12	5	64	0	50.0%	7.4%	3.1%	39.5%	0.0%	264	48	5	211
	12	154	76	23	4	49	0	49.4%	14.9%	2.6%	31.8%	0.0%	235	55	4	176
	1	152	73	20	3	50	0	48.0%	13.2%	2.0%	32.9%	0.				

## 《目標設定時公表項目》 2022 年度 横浜市青少年育成センター

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値
利用者サービス	地域の青少年活動を支援するため、施設の貸出や青少年育成に関する相談や情報提供などに対応します。	①施設稼働率 70% (前年度年間目標：60%) ②相談・情報提供業務 年間 100 件 (前年度年間目標：100 件)
業務運営	①青少年に向き合う地域人材を育成します。 ②青少年育成者・団体ネットワークの推進を強化します。	①青少年育成に関する講座・研修等への参加者数 延べ 700 人以上。(前年度年間目標：600 人以上) ②青少年育成に取り組む他団体と連携して、青少年育成者や、団体のネットワークを推進します。 連携事業：年 4 事業以上
職員育成	①青少年活動を多角的に支援できる職員の養成 ②安心して活動できる施設運営	①職員の外部研修への参加 年 6 回以上。 育成センタースタッフの内部研修の実施 年 1 回以上 ②避難誘導訓練 年 1 回、AED 講習会 年 1 回
財務	利用料収入および事業収入の増収を図り、自主財源を高めます。	①利用料収入 190 万円 (前年度年間目標：190 万円) ②事業収入 75 万円 (前年度年間目標：90 万円)

## 《実績評価時公表項目》

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値	実績値	目標との差異	今後の取組(改善計画)
利用者サービス	キャッシュレス決済や電子申請、オンライン活動の支援など利便性の向上を図り、利用促進を図ります。	①施設稼働率：70% ②相談・情報提供業務 年間：100 件	①56.5% ②108 件	①13.5% ②+8 件	①施設利用時の手続きの簡便化や空室情報の細やかな発信など、利便性を高めます。 ②多岐にわたる相談に対応できるよう、引き続き、情報収集と職員育成に努めます。
業務運営	①サテライトやオンラインでも研修を開催し参加者増加を図ります。 ②青少年育成者・団体ネットワークの推進を強化します。	①講座・研修等の参加者数延べ 700 人以上。 ②他団体との連携事業：4 事業以上	①520 人 ②9 団体	①180 人 ②+5 件	①参加者層に応じたハイブリット・対面形式の使い分けやニースを捉えたテーマ、実施時期・時間への工夫を行ないます。 ②団体とのつながりを意識した事業展開により、連携団体との連携を強化します。
職員育成	①青少年活動を多角的に支援できる職員の養成 ②安心して活動できる施設運営	①外部研修への参加 年 6 回以上 ②避難誘導訓練年 2 回 AED 講習会年 1 回	①19 回 ② 避難 2 回 AED 1 回	①+13 回 ②なし	①青少年課題や対人スキルなど、職員の研修参加を引き続き促進します。 ②利用者の安全に関わる研修を定期的かつ確実に実施します。
財務	新たに機材等の貸出料金を設定するなど、利用料収入および事業収入の増収を図ります。	①利用料収入 190 万円 ②事業収入 75 万円	①1565 千円 ②980 千円	①335 千円 ②+230 千円	①空室状況、SNS による施設 P R 等で利用頻度、利用層の拡大を図ります。 ②活動支援としての物品貸出、研修事業ではメリハリのある料金設定に継続して取り組めます。

## A 青少年活動を支援する事業 あ 施設貸与

事業名	実施日	件数	利用人数	備考
<b>1 利用者案内、利用相談、受付</b> <b>●会議室、スタジオ等の貸出</b> ・貸し出し、利用相談 ・育成団体登録時の相談実施	4～3月	3,850件	42,871人	・件数内訳) 青少年 392件 育成団体 1657件 一般 1685件 法人利用 116件  ・登録件数内訳) 383件 青少年 65件 育成団体 106件 一般 212件
<b>●HPによる情報提供</b>	随時			・抽選予約状況(3か月前、毎月) ・スタジオ空室状況(2か月分・週1回更新および随時)
<b>2 施設での活動支援、安全・衛生環境管理</b> <b>●非常用物品の確認・点検</b> ・各室非常灯の点検、救急箱の点検 ・部屋貸し出し時の避難経路案内	毎月 随時	—	—	・地震および火災時の対応 非常灯表示 ・HPによる案内(帰宅困難者一時 滞在施設) ・備蓄品の購入と保管(水、軽食)
<b>●避難訓練の実施</b>	①7/11 ②2/7	年2回	—	・避難誘導訓練の実施
<b>●スタッフ救急研修</b>	2/7	年1回	—	・応急手当講習会
<b>●修繕等の実施</b> ①B1 防犯カメラ更改 ②B1 防犯カメラ増設	①7/10 ②3/13	年2回	—	①B2 ホール、1 研修室・和室前廊下 ②B2 スタジオ前
<b>3 利用者サービス向上のための取り組み</b> <b>●活動支援室(プリントルーム)事業</b>	4～3月	618件	—	印刷機/コピー/ラミネート 製本作業等の活動支援事業
<b>●館外貸出物品事業(着ぐるみ)</b>	—	—	—	コロナ感染防止の為、貸出停止中
<b>●利用サービスの向上</b> 交流スペース、ワークルームの運営 利用者用ロッカーの貸出	通年	—	—	・個別学習コーナー ・子ども食堂寄付物品の中継支援 (消毒液、マスク他)など
<b>●利用者アンケートの実施</b>	2～3月	118件	—	・利用状況や利用者サービス、 職員対応などを調査
<b>4 その他</b> 新型コロナウイルスの影響による対応 ①かながわBA.5対策強化宣言 ②マスク着用の個人判断への移行	①8/2-9/30 ②3/13～	—	—	・社会状況に応じて、感染拡大防止 の基本的取り組みを継続しながら、 利用制限緩和を実施

## A 青少年活動を支援する事業 え 相談・助言

事業名	実施日	件数	備考
<b>青少年育成に関する相談・情報の収集と提供</b> <b>●相談・コーディネート</b>	4～3月	108件	・窓口、電話、Eメールでの相談対応 ・青少年及び地域活動の企画・実施への助言 ・講師紹介 ・研修講座終了後の相談対応など

<p>●情報の提供 ユースライブラリーの運営 HPやSNS等による情報提供 館内空きスペースを活用したパネル展</p>	<p>随時</p>	<p>—</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年に関する書籍の収集・配架・貸出</li> <li>・青少年指導者向けの研修・講座情報の提供</li> <li>・青少年統計データ、ボランティア情報提供</li> <li>・青少年に関する書籍の貸出とデータベース化</li> <li>・青少年通信の発行 4,000部 250カ所配布</li> <li>・Facebook, twitter, note 等の SNS での情報発信</li> <li>・パネル展の実施：「育成センター利用団体の活動紹介」、「自殺予防」</li> </ul>
<p>●相談・助言の対応の向上 (スタッフスキルアップ研修等)</p>	<p>①毎月 ②随時</p>	<p>—</p>	<p>①月例会議でのケースカンファレンス (毎月) ②外部研修への職員の参加 (19件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年課題に関する研修会</li> <li>・メンタルヘルスに関する研修</li> <li>・オンライン実践交流サロン「ユースセンターの在り方を模索するユーススクエアの取組み」ほか</li> </ul>

#### A 青少年活動を支援する事業 お 調査、資料収集

<p>●調査・資料収集 ①地域の青少年活動のリサーチ ③外部人材との意見交換会</p>	<p>①通年 ②3/20、 3/22</p>	<p>①21件 ②2回</p>	<p>①青少年に関する新しい取り組みの取材・発信 ②施設の活用方法や PR、運営課題についての意見交換会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動実践者 (6団体)</li> <li>・事業協力関係にある青少年育成者・指導者 (8団体)</li> </ul>
---	--------------------------------	---------------------	--

#### B 青少年を支える人材を育成する事業 い 講座・セミナー・育成

日常の関わりの中で包括的に青少年を支え、青少年や地域が抱える課題に対して、青少年自身または地域の活動者・実践者に寄り添い、共に考え伴走していけるような人材の広がりを目指し、事業を企画・実施しています。

講座・研修は、青少年理解の基礎的な内容から、活動者・実践者が学びを積み上げていく連続講座、活動現場の実践で活かせるスキルアップ講座、青少年に関わる方々が出会い学び合う交流会やフォーラムなど、参加者それぞれの立場やレベルに合わせた研修体系となっています。

事業名	実施日	参加人数	備考
<p>＜青少年理解の基礎講座＞ (前期)</p> <p>① 「アセクシャル・アロマンティック」 講師：特定非営利活動法人SHIP 星野 慎二 氏</p> <p>② 「発達障がいの理解」 講師：臨床心理学博士 中本 テリー 氏</p> <p>・定員 50 人(対面 30 人、オンライン 20 人) ・参加費：各回 600 円 ※全回参加者には「修了証」を発行 ※全回対面・オンライン並行開催</p>	<p>①9/20 ②9/28</p>	<p>①23人 ②35人 計 58人</p>	<p>・青少年を取り巻く現状や課題について学び、青少年に寄り添う人材を増やすことを目的に青少年理解の基礎講座を上半期(前期)と下半期(後期)で実施した。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症予防対策としてハイブリッド開催を継続した。オンライン参加が前年度と比べて増加した。</p>

事業名	実施日	参加人数	備考
<p><b>&lt;青少年理解の基礎講座&gt;</b> (後期)</p> <p>① 「ヤングケアラーの支援」 講師：一般社団法人 Omoshiro 勝呂 ちひろ 氏、青木大三 氏</p> <p>② 「オーバードーズ～市販薬の過剰摂取～」 講師：神奈川県立精神医療センター依存症診療科 西村 康平 氏</p> <p>③ 「不登校支援のイマ」 講師：一般社団法人かけはし 廣瀬 貴樹 氏</p> <p>④ 「子どもの虐待被害と回復 前編」 講師：NPO 法人子ども支援センターつながぐ 飛田 桂 氏</p> <p>⑤ 「ひとり親家庭の支援を通じて」 講師：NPO 法人DV対策センター 穂志乃 愛莉 氏</p> <p>⑥ 「デートDVの相談対応」 講師：エンパワメントかながわ 浜谷 典子 氏</p> <p>⑦ 「ユースワークの役割」 講師：ユースワーカー協議会 水野 篤夫 氏</p> <p>⑧ 「子どもの虐待被害と回復 後編」 講師：NPO 法人子ども支援センターつながぐ 飛田 桂 氏</p> <p>・定員 50 人(対面 30 人、オンライン 20 人) ・参加費：各回 600 円 ※全回参加者には「修了証」を発行 ※全回対面・オンライン並行開催</p>	<p>①10/5</p> <p>②10/13</p> <p>③10/24</p> <p>④10/28</p> <p>⑤11/8</p> <p>⑥11/15</p> <p>⑦11/22</p> <p>⑧11/30</p>	<p>①23 人</p> <p>②17 人</p> <p>③35 人</p> <p>④30 人</p> <p>⑤34 人</p> <p>⑥17 人</p> <p>⑦21 人</p> <p>⑧35 人</p> <p>計 212 人</p>	<p>・青少年を取り巻く現状や課題について学び、青少年に寄り添う人材を増やすことを目的に青少年理解の基礎講座を上半期（前期）と下半期（後期）で実施した。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症予防対策としてハイブリッド開催を継続した。オンライン参加が前年度と比べて増加した。</p>
<p><b>&lt;専門研修（連続講座）&gt;</b></p> <p>青少年に関わるための専門研修 「性教育を学ぶ」（2クール/各クール3回）</p> <p>① 第1クール 講師：（一社）“人間と性”教育研究協議会 中野 久恵 氏</p> <p>② 第2クール 講師：助産師・思春期保健相談士 千田 陽子 氏</p> <p>・定員各 20 人 参加費：2,500 円 ※全回対面開催</p>	<p>①2/21 2/24 2/28</p> <p>②3/9 3/15 3/16</p>	<p>① 延 14 人</p> <p>② 延 53 人</p> <p>計 延 67 人</p>	<p>・青少年に関わる活動や業務に関わる実務経験者のレベルアップを目的に、青少年に関わるための専門研修を2クール全6回の講座として実施した。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症予防対策の社会的緩和に合わせ、全回対面での開催とした。</p> <p>・性教育について大人も学ぶ必要性があるとする参加者の声もあり、参加者満足度の高い研修となった。</p>

<p><b>&lt;次世代人材の育成研修&gt;</b></p> <p>青少年ボランティア体験</p> <p>①育成センターボランティア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定員 30 人</li> </ul> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取材 6 回（若者の居場所他）</li> <li>・まち歩き視察等（子ども食堂他）5 回</li> <li>・朝市での活動（4 回）</li> <li>・ふあんみつけ記者派遣（6 回）</li> <li>・オンライン MTG・交流会（16 回）</li> <li>・活動面談（16 回）</li> </ul> <p>②「あそび」のボランティア入門講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定員 30 人</li> </ul> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・プレイパークでの活動</li> <li>・ふりかえり</li> </ul>	<p>①通年</p> <p>②8-9 月</p>	<p>①47 人</p> <p>②13 人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年に関わる次世代人材の育成を目的に、主に大学生世代の青少年が、地域活動の取材や情報発信を通して、社会に関わる活動に参加する機会を提供した。また、取材をきっかけに大学生ボランティアが地域の活動団体とつながり、活動に参加するきっかけが生まれるなど、人材のすそ野を広げる取組となった。</li> <li>・高校生・大学生世代を対象に、プレイヤーパークでの活動を通して、地域で子どもの遊びや活動を支援する若者ボランティアを養成しました。</li> </ul>
<p>事業名</p>	<p>実施日</p>	<p>参加人数</p>	<p>備考</p>
<p><b>&lt;青少年活動や団体運営に役立つ講座&gt;</b></p> <p>①応急手当（MFA）講習会</p> <p>講師：NPO 法人体験学習研究会 二宮 孝 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定員 10 人</li> <li>・参加費：12,000 円</li> <li>・内容：全年齢対応の上級救命講習</li> </ul> <p>②動画講座</p> <p>講師：NPO 法人ちいき未来 森 康祐 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定員 15 人</li> <li>・参加費：2,000 円</li> <li>・内容：スマホを使った動画作成</li> </ul> <p>③場づくり講座</p> <p>講師：NPO 法人れんげ舎 長田 英史 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定員 20 人</li> <li>・参加費：7,000 円</li> <li>・内容：組織運営マネジメント</li> </ul> <p>④人間関係とコミュニケーション講座</p> <p>講師：True Colors 中野 満知子 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定員 20 人</li> <li>・参加費：7,000 円</li> <li>・内容：対人関係ワークショップ</li> </ul> <p>⑤動画講座・編集編（全 2 回）</p> <p>講師：NPO 法人ちいき未来 森 康祐 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定員 20 人</li> <li>・参加費：3,000 円</li> <li>・内容：動画編集のステップアップ</li> </ul> <p>⑥自然遊び講座</p> <p>講師：一般社団法人遊心 峯岸 由美子 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定員 20 人</li> <li>・参加費：1,800 円</li> </ul>	<p>①8/18</p> <p>②11/5</p> <p>③1/7</p> <p>④2/26</p> <p>⑤3/4、3/25</p> <p>⑥3/21</p>	<p>①7 人</p> <p>②14 人</p> <p>③4 人</p> <p>④10 人</p> <p>⑤3 人</p> <p>⑥4 人</p> <p>計 42 人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年育成に関わる人や団体の活動の充実を図ることを目的に、青少年活動や青少年育成団体の運営に役立つ知識・スキルを学ぶ講座を実施した。</li> <li>・活動実践者の支援を目的に救命救急・スマホを使った動画撮影・編集、コミュニケーションなど、活動の際に役立つ内容を提供しました。内容によっては参加費の高い講座も試行的な取組みとして実施しましたが、一定の収穫がありました。</li> <li>・全体的に参加者が伸び悩む結果となりましたが、要因と考えられる実施時期の設定や十分な周知期間の確保などについては、しっかりと改善に取り組みます。</li> </ul>

<p>行政機関や青少年支援団体等と連携した 人材育成</p>	<p>通年</p>	<p>9 団体</p>	<p>・ 青少年育成団体等との協働し、幅広いテーマの人材育成を共催等で実施した。 ①NPO法人よこはまチャイルドライン 「子ども支援者養成講座2022」 ②横浜市母子寡婦福祉会 「養育費セミナー」 ③日本作法会 横浜関内教室 「心を育てる講座 こども作法」 ④NPO法人子ども支援センターつなぐ 「子ども話を聞く教職員向け研修」他 ⑤おもしろ科学たんけん工房 「理科推進スタッフ体験講座」 ⑥横浜市教育委員会 人権教育・児童生徒課 「横浜プログラム指導者養成研修」 ⑦横浜にプレイパークを創ろうネットワーク 「プレイリーダー研修」 ⑧中区民生委員児童委員協議会 「親子のひろば」 ⑨音で繋がろうプロジェクト 「音で繋がろうプロジェクト」</p>
<p>事業名</p>	<p>実施日</p>	<p>参加人数</p>	<p>備考</p>
<p><b>&lt;青少年育成関係者の交流勉強会&gt;</b> よこはまユースゼミ 「20代の若手スタッフが現場をふりかえられる場」</p> <p>話題提供者： ・ほどがや市民活動センターアワーズ 北川 有紀 氏 ・あおばコミュニティテラス 大久保 智弘 氏</p> <p>①参加者・ファシリテータ同士の交流 ②キャリア（生き方・働き方）を聞く-1 ③キャリア（生き方・働き方）を聞く-2 ④自己紹介を深めてみる ⑤自分のキャリアを文章にしてみる ⑥今年度を振り返る</p> <p>・定員 15 人・参加費：2,500 円</p>	<p>①10/4 ②11/1 ③12/6 ④1/10 ⑤2/15 ⑥3/7</p>	<p>①9 人 ②9 人 ③8 人 ④9 人 ⑤8 人 ⑥8 人</p>	<p>・ 青少年に関わる仕事をしている若手人材の育成とネットワーク形成を目的に、主に 20 代の若手スタッフが少し上の世代の実践者との交流やキャリアについての講義を通して学び、自分自身の実践を振り返る機会を提供した。</p> <p>・ キャリアの振り返りをテーマとしたが、多様なアプローチで自己の新たな発見や仕事のとらえ方を認識する場として、参加者から高い満足度を得られる勉強会となった。</p>
<p><b>&lt;青少年団体等のネットワーク形成事業&gt;</b> 第 8 回「横浜子ども・青少年に関わる活動関係者の大交流会」</p> <p>※「横浜子ども・青少年に関わる活動関係者の大交流会」を開く会との共催 ※感染拡大防止のため、ハイブリッド開催</p>	<p>7/10</p>	<p>29 団体 65 人</p>	<p>・ 青少年に関わる活動団体や関心のある人が集まり、活動発表と交流することを目的に共催事業として実施した。育成センターは事務局として世話人会開催サポート、広報、当日運営サポートを行った。</p> <p>・ 今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からハイブリッド開催としましたが、オンライン参加者 3 名と少なく“交流会”では対面を希望する割合が多いことが確認できました。</p> <p>・ 今年度は新たに参加した団体も加わり、活動への思いの共有や活動のヒントにつながるような交流となり、子ども・青少年に関わる人たちの貴重なネットワークの場を提供できました。</p>

2022年度 横浜市青少年育成センター施設管理業務報告【4月～3月】

○建築物の保守管理

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
内部仕上げ	壁面・天井・床・等	目視点検	1日1回以上		育成C

○空調・電気・消防設備等保守点検

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
空調設備	外観の状態	目視点検	1日1回以上		関内H
	自動運転盤の異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	電流値の適正	目視点検	1日1回以上		関内H
	モーターの異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	回転音異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	ファンベルトの異常の有無	目視点検	1日1回以上		関内H
	ドレンパンの異常の有無	目視点検	月1回	4/11,5/10,6/13,7/11,7/25,8/16,8/29,9/13,10/11,11/7,1/10,2/7,3/13	関内H
	フィルターの汚れ	点検・清掃	月1回	4/11,5/10,6/13,7/11,7/25,8/16,8/29,9/13,10/11,11/7,1/10,2/7,3/13	関内H
電気設備	受電設備	年次点検	年1回(9月)	9/12,	関内H
	配電設備	年次点検	年1回(9月)	9/12,	関内H
	蓄電池設備	機器・総合点検	年2回(9月、3月)	10/11,3/27	関内H
消防設備		機器・総合点検	年2回(9月、3月)	8/16,9/13,3/13	関内H
中央監視装置		本体・制御点検	年2回(8月、1月)	8/29,	関内H
エレベーター設備		月例点検	月1回	4/11,5/10,6/13,7/11,7/25,8/16,8/29,9/13,10/11,11/7,1/10,2/7,3/13	関内H
防火シャッター設備	防火シャッター設備	定期点検	年1回	3/13,	関内H
自動ドア設備		定期点検	年4回(6,9,12,3月)	6/13,9/13,3/13,3/27	関内H

○環境衛生業務

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
環境衛生管理	空気環境測定		年6回(奇数月)	5/27,7/15,9/5,11/17,1/12,3/15	関内H
	水質検査		年2回(8月、2月)	7/14,8/17,2/8	関内H
	害虫駆除	薬剤散布等	年2回(8月、2月)		関内H
	受水槽清掃	物理的清掃	年1回(6月)	6/13,	関内H
	残留塩素測定	試薬による点検	1日1回		関内H
	高置水槽清掃	物理的清掃	年1回(6月)	6/13,	関内H
	雑排水槽清掃	物理的清掃	年2回(8月、2月)	2/7,	関内H
	排水管清掃				関内H

○備品等の保守管理

項目	協定の内容	実績	分担
事務備品の管理	施設の運用に支障をきたさないよう適正に管理する	日常点検とともに実施	育成C
消耗品の管理	施設の運用に支障をきたさないよう適正に管理する	日常点検とともに実施	育成C

○清掃業務

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
日常清掃		日常清掃	1日1回以上		関内H
定期清掃	床清掃(洗剤・ワックス塗布)	ワックス塗布	年3回以上	5/10,6/13,7/11,8/29,9/13,10/11,11/7,12/12,1/10,3/13,3/27	関内H
	照明器具清掃	照明器具、排気口清掃	年2回		関内H
	ガラス清掃	ガラス清掃	年6回(奇数月)	5/10,7/11,10/11,11/7,1/10,3/13	関内H

○保守管理業務

項目	機器及び設備名称	実施内容	回数	実績	分担
常駐警備		巡回警備	1日4回以上		関内H
機械警備		セコム	毎日(夜間)	警戒警備	関内H

# 横浜市青少年育成センター 2022年度施設利用者アンケート 集計結果

2023年2月1日～3月31日  
(回答数件 118件)

調査方法: 議室等を利用の際にアンケート用紙を配布し、記入後回収

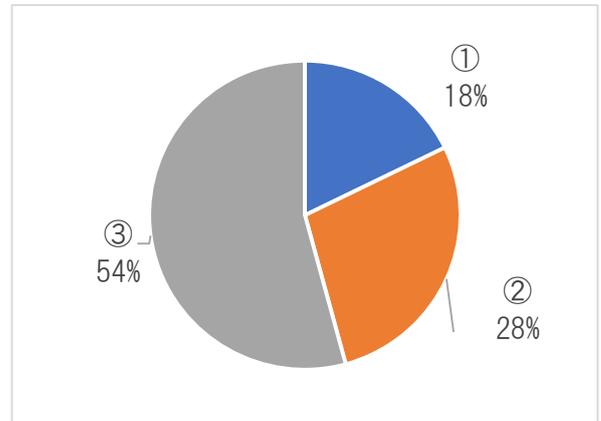
横浜市青少年育成センター

# 横浜市青少年育成センター 2022年度施設利用者アンケート集計結果

## 1. 利用状況について

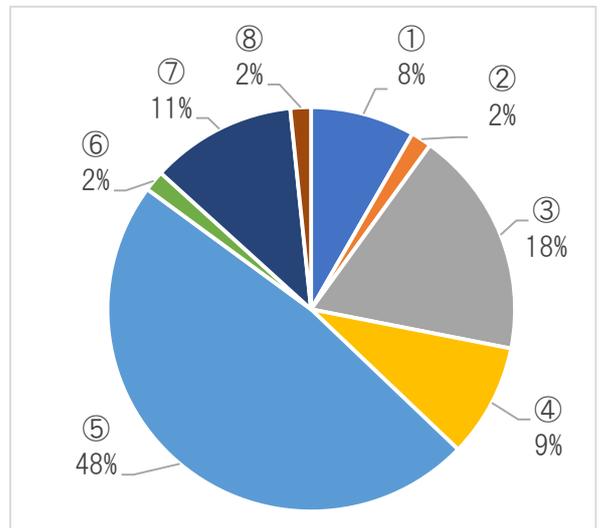
(1) 利用区分を教えてください。

① 青少年団体	21	18%
② 育成者・指導者団体	33	28%
③ 一般団体	64	54%
④ 未記入	0	0%
総数	118	



(2) どのような団体ですか？(複数回答可)

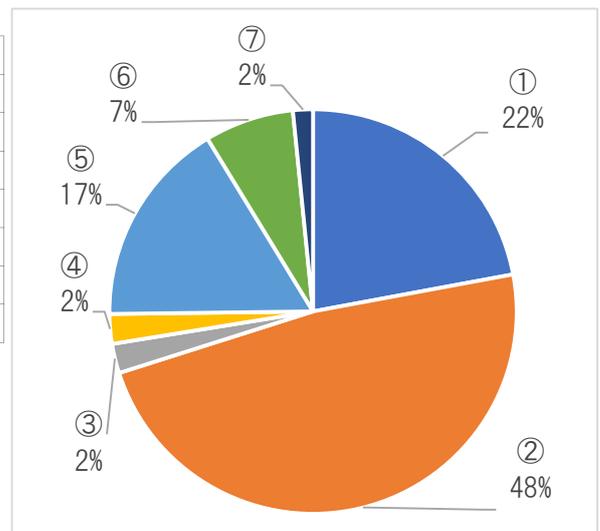
① 非営利法人(NPO法人等)	10	8%
② 公共的団体(自治会・町内会等)	2	2%
③ 任意団体(青少年育成)	22	18%
④ 任意団体(市民活動)	11	9%
⑤ サークル・同好会・個人	58	48%
⑥ 一般企業	2	2%
⑦ その他	14	12%
⑧ 未記入	2	2%
総数	121	



異業種交流会／ガールスカウト／カウンセリング学習会／学生団体／  
学童軟式野球／企業OB会／工業団体／退職の会／任意団体(退職  
校長会)／バンド／美術団体／マンション管理組合

(3) どのような規模で活動していますか？

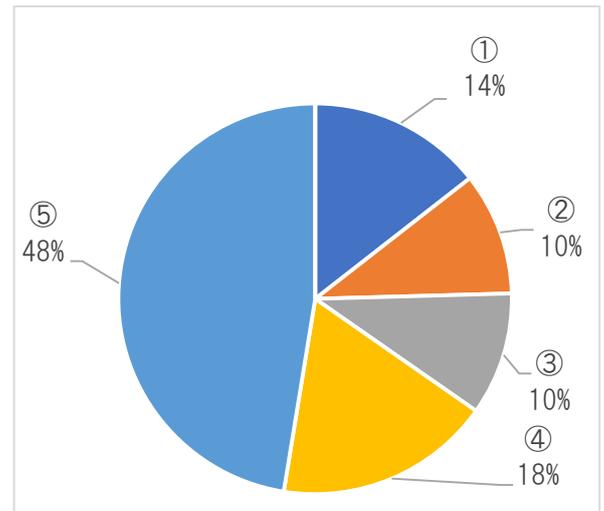
① 神奈川県域	28	22%
② 横浜市域	61	48%
③ 区域	3	2%
④ 限定した地域	3	2%
⑤ 知り合い・友人のみ	21	17%
⑥ その他	9	7%
⑦ 未記入	2	2%
総数	127	



会員他／組合員のみ／全国／どこの方々でも海外の方もOK／都内／  
部活／本部全国大会の神奈川支部／東京

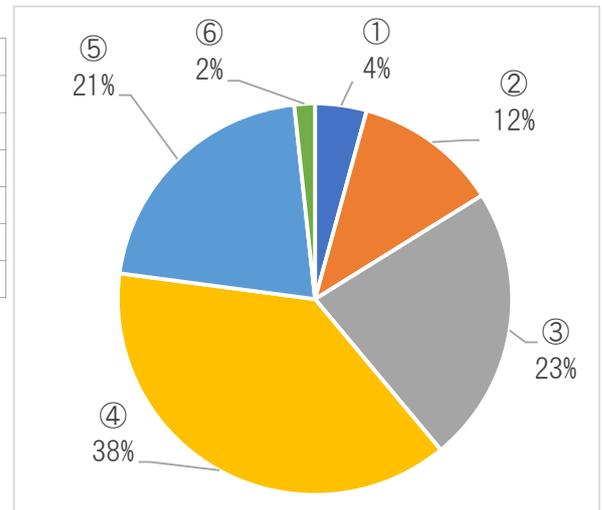
(4) 当施設をどのぐらいの期間、利用していますか？

① 1年未満	17	14%
② 1年以上2年未満	12	10%
③ 2年以上3年未満	12	10%
④ 3年以上5年未満	21	18%
⑤ 5年以上	56	47%
⑥ 未記入	0	0%
総数	118	



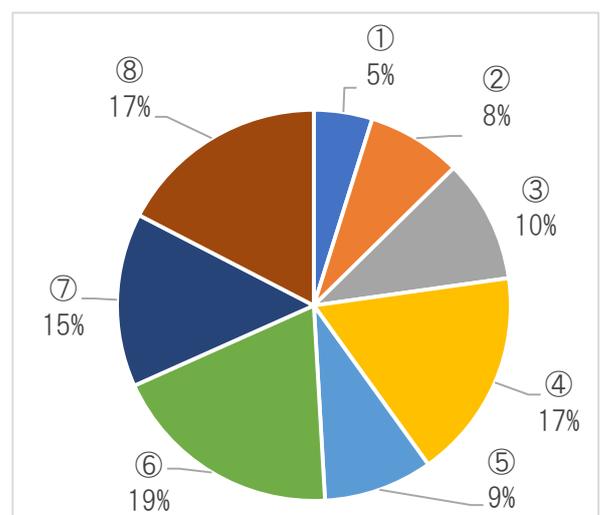
(5) 当施設をどのぐらいの頻度で利用していますか？

① 2回以上/週	5	4%
② 1回/週	14	12%
③ 2~3回/月	27	23%
④ 1回/月	45	38%
⑤ 数回/年	25	21%
⑥ 未記入	2	2%
総数	118	



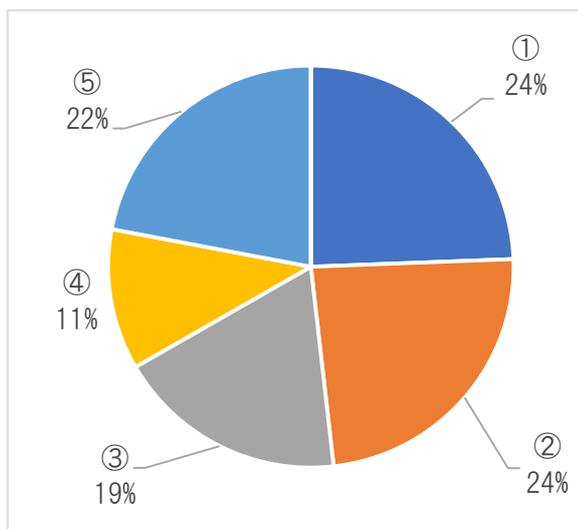
(6) 主に利用される曜日はいつですか？(複数回答可)

① 月曜日	8	5%
② 火曜日	13	8%
③ 水曜日	17	10%
④ 木曜日	29	17%
⑤ 金曜日	15	9%
⑥ 土曜日	32	19%
⑦ 日曜日	24	14%
⑧ 不定期	29	17%
⑨ 未記入	0	0%
総数	167	



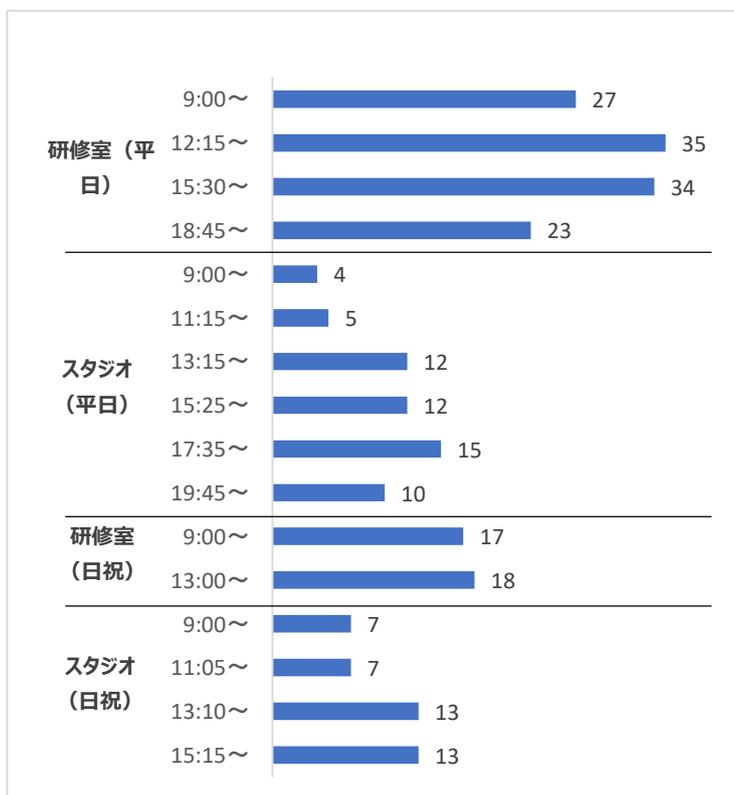
(7) 主に利用される部屋はどこですか？(複数回答可)

①	第1研修室	41	24%
②	第2研修室	40	24%
③	ミーティングルーム	31	18%
④	和室	19	11%
⑤	スタジオ	37	22%
⑥	未記入	0	0%
	総数	168	



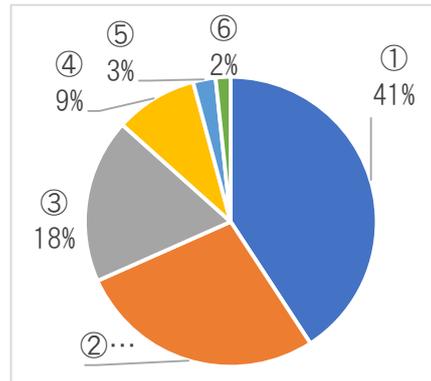
(8) 主に利用される時間帯はいつですか？(複数回答可)

研修室(平日)			
①	9:00~	27	11%
②	12:15~	35	14%
③	15:30~	34	13%
④	18:45~	23	9%
スタジオ(平日)			
⑤	9:00~	4	2%
⑥	11:15~	5	2%
⑦	13:15~	12	5%
⑧	15:25~	12	5%
⑨	17:35~	15	6%
⑩	19:45~	10	4%
研修室(日祝)			
⑪	9:00~	17	7%
⑫	13:00~	18	7%
スタジオ(日祝)			
⑬	9:00~	7	3%
⑭	11:05~	7	3%
⑮	13:10~	13	5%
⑯	15:15~	13	5%
	未記入	3	1%
	総数	255	



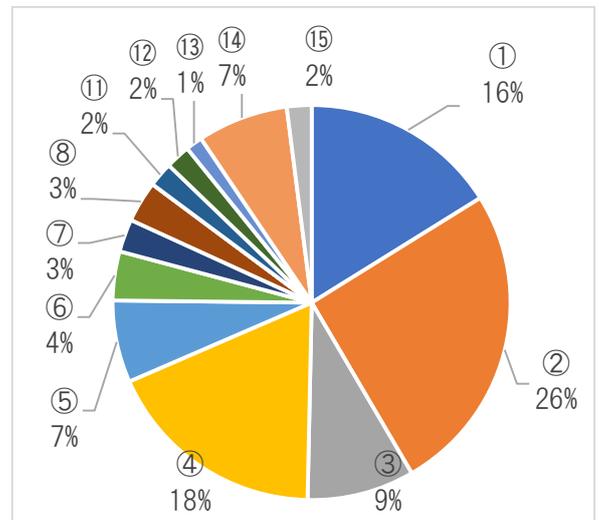
(9) 通常、何人ぐらいで利用されていますか？

① 1～5人	49	41%
② 6～10人	33	28%
③ 11～30人	22	18%
④ 31～50人	11	9%
⑤ 51人以上	3	3%
⑥ 未記入	2	2%
総数	120	



(10) どのような目的で利用されていますか？(複数回答可)

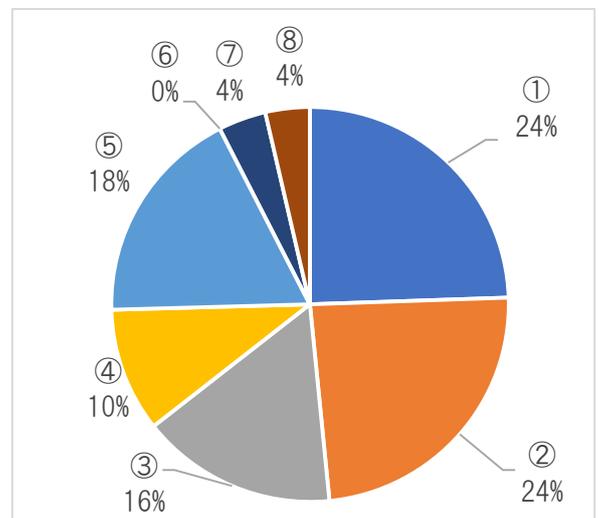
① 研修	24	16%
② 会議	38	26%
③ 勉強	13	9%
④ バンド練習	27	18%
⑤ 楽器演奏(バンド以外)	10	7%
⑥ コーラス	6	4%
⑦ 子育て関連	4	3%
⑧ 舞踊・ダンス	5	3%
⑨ スポーツ・武道	0	0%
⑩ 美術・工芸	0	0%
⑪ 講演会	3	2%
⑫ 演劇	3	2%
⑬ 茶華書道・着付け	2	1%
⑭ その他	11	7%
⑮ 未記入	3	2%
総数	149	



異業種交流、勉強会／学習会・定例会／着物の小物作り／座禅／詩吟／事務作業／将棋大会／食品提供会／大会／バンド／フリースペース／野球大会抽選会

(11) 育成センターを利用している理由は何ですか？(複数回答可)

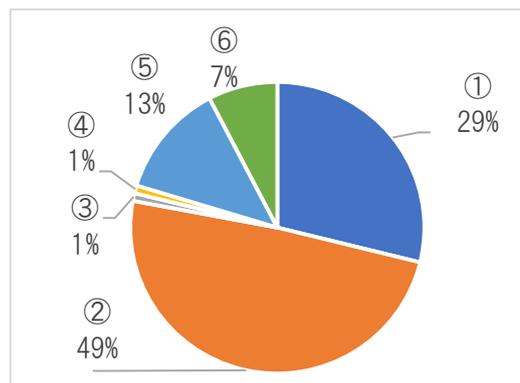
① 料金が適当	101	24%
② 立地環境が良い	99	24%
③ 受付の対応が親切	66	16%
④ 利用手続きが簡単だから	42	10%
⑤ 施設が使いやすい	74	18%
⑥ 他の施設がとれなかった	0	0%
⑦ オンライン環境が充実している	16	4%
⑧ フリーWiFiがある	15	4%
⑨ その他	0	0%
⑩ 未記入	0	0%
総数	413	



## 2. 育成センターの機能について

(1) 育成センターの設置機材や貸出機材は使いやすかったですか？

① とても使いやすい	34	29%
② 使いやすい	58	49%
③ あまり使いやすくない	1	1%
④ 使いにくい	1	1%
⑤ 使ったことがない	15	13%
⑥ 未記入	9	8%
総数	118	



(2) 上記質問の回答理由をご記入下さい。(任意記入)

### 【①とても使いやすい】

利用しやすいです／プロジェクターがあるのが良い／プロジェクター・マイクを主に利用。取り扱いが容易／表示わかりやすい／荷物を持って来なくてすむので助かります／とてもきれいでした！！／使い方のパンフレットがあった／備え付けのラジカセがあった／助かります／機材が揃っている／駅から近く利用料が安い／アンプの設備が良い／アンプ、ドラムセットetc/CDプレーヤーですのでまったく問題ありません

### 【②使いやすい】

物が整理されていて使いやすい／マイク使用が容易／マイク、ピンマイクもありよかった／ピアノがあると良いと思います／汎用性が高い／ドラムやアンプ、マイクも電子ピアノもすぐに使うことができること／年寄りでも使用できた／時々マイクが不調のことがあった／直観的につかえるので／親切に機材の使い方を指導してくれる。一緒にやって頂き助かっています。／職場に近い。近隣に同様の施設がない／簡便である／過不足なく使わせていただいています／各部屋にフリーwifiがあるのはリモート会議時にありがたいです。／液晶モニターにて鮮明に理解できます／育成センターの方が設置の手伝いをして頂ける／アンプの音が良い／wifiも便利／PC・スピーカー・プロジェクターなど手持ちの電子機器と接続が安定している。種類が充実しているから／G7アンプが真空管で弾きだしが少し遅くなってしまうため

### 【③あまり使いやすくない】 点検不足！！

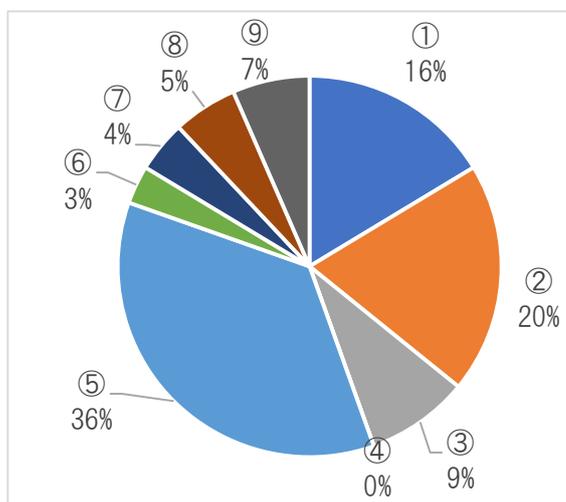
### 【④使いにくい】 ピアノが駅に移動してしまった

### 【⑤使ったことがない】 会議だけで何も使っていない

(3) 部屋以外に利用・活用したことがあることを教えてください。(複数回答可)

① 研修・講座	15	16%
② 交流スペース	18	20%
③ 個別学習・パソコンスペース	8	9%
④ ユースライブラリー(図書の閲覧・貸出)	0	0%
⑤ コピー機・印刷機	33	36%
⑥ 職員への相談(活動や青少年について)	3	3%
⑦ 配架チラシ・掲示物での情報収集	4	4%
⑧ 育成センターでのチラシ等配架依頼	5	5%
⑨ その他	6	7%
総数	92	

講座参加／ロッカー／トイレ



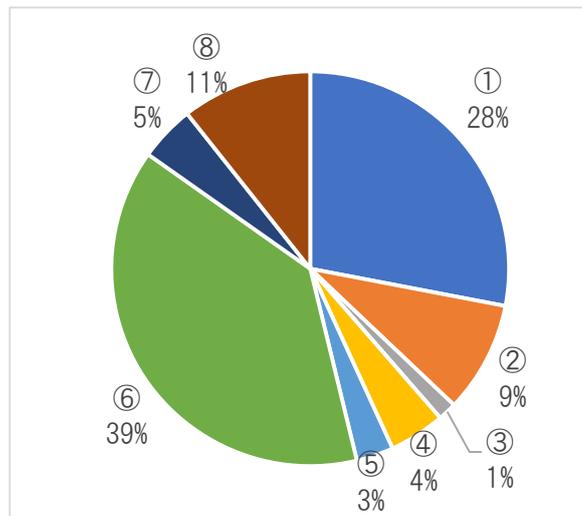
(4) どんな機能があると良いと思いますか。(任意記入)

活動及び団体紹介や成果物の掲示スペース／コーヒー、軽食等の提供(もちろん有料)ex、コーヒーを飲みながら打合せする等／植物を室内で利用者がシェアして管理するようなことがあるといいと思います／小さな会議室。打合せ等で使いたい／調理室があると子どもの授業内容がもっと充実すると思います。よろしく願います／ドラムセットの劣化(タムなど)は、更新いただけると嬉しいです／ドラムのシンバルを増やしてほしい／日曜日の終わりの時間が17:00だと大変助かります／ネット予約があると嬉しいです／ピアノがあると良い／マイク2つ以上／料理をできるスペースがあるといいですね。子ども達がお菓子作りをしたり、コンビニ弁当ばかりの家庭の子が自炊の仕方を学んだり、それと「関内保健室」(?)は立地を生かしたとても良い企画だと思います

### 3. 情報の収集について

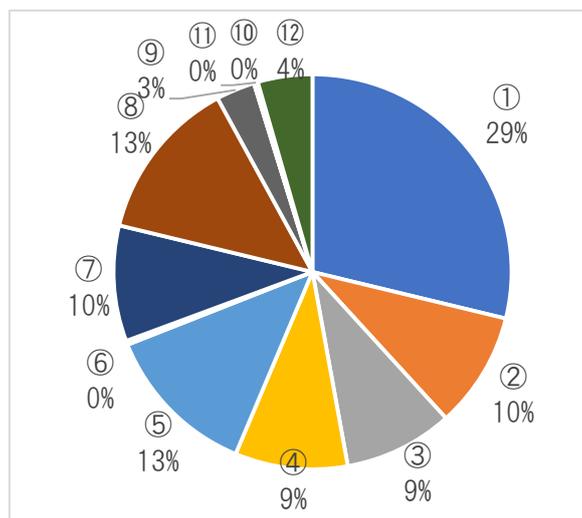
(1) 育成センターを何で知りましたか？(複数回答可)

① 知人の紹介	37	28%
② 関内ホールを利用の際	12	9%
③ パンフレット・事業チラシ	2	2%
④ SNSなどソーシャルメディア	6	5%
⑤ 他施設からの紹介	4	3%
⑥ 以前から利用している	51	39%
⑦ その他	6	5%
⑧ 未記入	14	11%
総数	132	



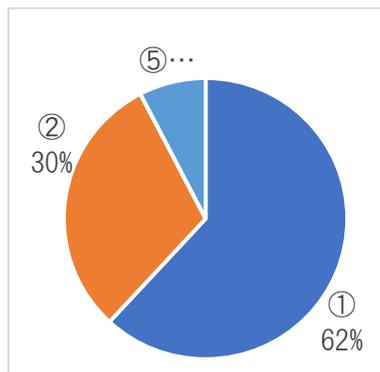
(2) 日常で使用しているWEB情報ツールは何ですか？(複数回答可)

① 検索サイト(GoogleやYahoo!等)	91	29%
② Twitter	30	9%
③ Facebook	28	9%
④ Instagram	29	9%
⑤ Line(公式アカウント)	40	13%
⑥ Note	1	0%
⑦ Googleマップ	30	9%
⑧ Youtube	42	13%
⑨ TikTok	10	3%
⑩ LinkedIn	0	0%
⑪ その他	1	0%
⑫ 未記入	14	4%
総数	316	



(1)受付での対応(あいさつ、話し方、要望への対応)はいかがでしたか？

① とても良い	73	62%
② 良い	36	31%
③ あまり良くない	0	0%
④ 良くない	0	0%
⑤ 未記入	9	8%
総数	118	



(2)上記質問の回答理由をご記入下さい。(任意記入)

【①とても良い】

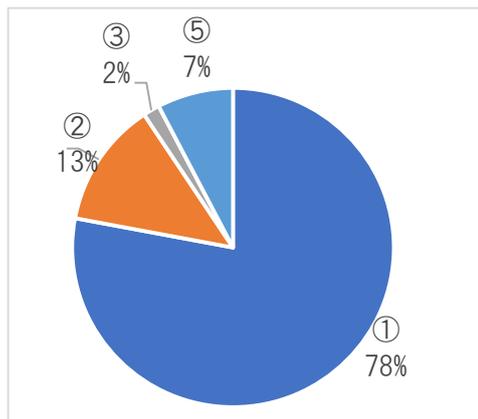
あかるくて話しやすい/いつもありがとうございます。荷物が多い時などお手伝いして下さいありがとうございます/いつもありがとうございます。皆さんの笑顔にホッとします。/いつも丁寧に対応していただきありがとうございます。/いつも丁寧に対応していただき気持ち良く利用させていただいています。ありがとうございます/いつもとても親切にご対応下さっています。空き情報なども丁寧に教えて下さっています/カード紛失時にていねいに対応してくれた。どうもありがとうございました/気軽に対応して頂けるのでとても助かります/親切/親切に対応して頂ける/対応がていねいだった/常に笑顔が素敵です/ていねい/とても親切です/とてもよかったですから/どなたも当会をご理解下さっている様子。いつも有難うございます/みなさんとても親切に対応して下さいます/予約等柔軟に対応して下さいるので/わかりやすく説明して下さる

【②良い】

基本的にどの方も親切に対応して頂いています/スタッフによって対応がちがうので統一してほしい時がある/特に悪い印象なし/ふつう 良く思われようとも悪く思われようとも思われていないと感じます/フランクな感じでありがたいです。こちらは成人(おじさん)ですから、むしろお手伝いしたいくらいです/皆さん親切

(1)育成センター全体の満足度を教えてください。

① 満足	92	78%
② やや満足	15	13%
③ やや不満足	2	2%
④ 不満足	0	0%
⑤ 未記入	9	8%
総数	118	



(2)育成センターに対する要望やお気づきの点があればご記入下さい。(任意記入)

【①満足】

TELで問い合わせの際、Webでは空いているのに空いていないことが多いです。すぐ反映させてもらえると助かります/いつも有難うございます/いつもありがとうございます。今後どうぞよろしくお願ひ致します/いつもお世話になりましてありがとうございます/いつもキレイで使いやすいです。ありがとうございます/いつも親切な対応をしていただいているので、引き続き利用させていただきます/いつも利用させて頂きまして、ありがとうございます/色々な制約があるでしょうが、今のような柔軟な運営が続くと良いなと思います/コロナ禍でなかなか青少年にお茶を教える機会がありません。センターの行事でそのような機会があればお声掛け下さい/今後ともよろしくお願ひいたします/上記の植物によるセンターが外に開かれていて、突発的な関内に来たような人が参加できるようになってくる(広場的な)ようになったらうれしいです/トイレ改善をおねがいしたい/とても使いやすい施設です/皆さん親切なので気持ちよく利用しています

【②やや満足】

希望の日時を一度にいくつか予約できると、どこか希望の日時がとれるのではないかと思います/スタジオに入室する際、少しカビくさいのが惜しいなと思います/提携駐車場があると嬉しい

【③やや不満足】

先行予約があり希望の部屋が予約できないことがたびたびある/ピアノを設置してほしい

体系	項目	自己評価
A 青少年活動を支援する事業	あ 施設の貸与  諸室および物品の貸出	<p>コロナ禍の影響は2022年度上半期まで色濃く残り、目標とした利用件数および稼働率の十分な回復には至りませんでした。しかし、下半期には社会的制限緩和が進んだことにより、利用団体の活動が本格的に始まり、それに対応するようにオンライン機材貸出やオンライン活動サポート、キャッシュレス決済システムの導入など利便性の向上にも取り組み、利用件数および稼働率は、昨年度よりも大きく伸びました。また、活動団体や事業協力団体との意見交換会を行ない、施設利用に関するニーズの把握に努め、利用改善を図りました。意見交換会では、施設利用にとどまらず、団体相互の理解にもつながる結果となりました。引き続き、施設利用の情報発信の充実と共に、事業や活動を通じた団体との繋がりを広げることで、活動支援としての諸室の提供も充実させられるよう努めていきます。</p>
	え 相談・助言  相談・コーディネート	<p>相談対応に関しては、団体や活動者から事業企画や実施、講師相談など、活動再開の機運の高まりを感じる内容の相談が多く寄せられました。また、保護者からは子どもの問題から夫婦や家庭に関する相談まであります。専門でない内容も寄せられますが、まずは相手の話をよく聞き、適切な機関につなげられるよう心掛けました。</p> <p>相談・コーディネートでは、青少年活動や団体の活動内容の把握に加えて、青少年の支援機関・関係機関の情報収集も必要になっていることから、相談対応に大きな偏りが生じないよう職員の人材育成を図っていきます。</p>
	情報提供（ユースライブラリーの運営ほか）	<p>ユースライブラリーの運営では、500冊を超える蔵書の有効活用を図るため、下半期には貸出WEBサービスシステムを導入したほか、団体と連携した青少年課題の図書コーナー設置を行ないました。</p> <p>情報発信では、昨年度に引き続き、大学生ボランティアの取材による地域の新しい活動や埋もれている青少年活動について、SNSを活用して紹介しました。また、地下2階の廊下を活用した利用団体の活動紹介パネル展や啓発パネル展「自殺予防」を実施するなど、定期的な情報提供に取り組みました。</p>
	お 調査・  調査・資料収集	<p>地域の青少年活動の調査では、青少年に関する新しい取り組みや見本となる活動取材し、情報収集とSNSによる発信を行ないました。この取り組みによって地域団体とつながり、関係性が深まったことで協力関係も徐々に築かれています。今後もこうした活動を通して、充実した調査・情報収集に努めます。</p> <p>外部人材との意見交換会では、青少年活動を実践する団体を対象に、育成センター事業や施設利用に関する意見交換を行ないました。今年度の意見交換会は、事業協力団体（6団体）、青少年育成者・指導者団体（8団体）という2つの属性に分けて実施しました。諸団体から寄せられた意見は、改善を要するものから、情報や状況の共有・整理で解決できるものまで様々でしたが、利用者と運営者とのコミュニケーションを図れる場であると共に、参加者同士が課題を共有・共感することで活動意欲の高まりにもつながる場としても有効であったと感じています。</p>

体系	項目	自己評価
B 青少年を支える人材を育成する事業	青少年に関わる人材育成のための研修・講座	<p>今年度はコロナ禍でも誰もが安心して参加できるようハイブリッド形式を継続した研修のほか、感染拡大が落ち着いてきた下半期には対面形式での実施にするなど、状況に応じて実施しました。青少年理解の基礎研修では「セクシャルマイノリティ」「発達障がい」「ヤングケアラー」など、社会問題となっている幅広いテーマを取り上げました。研修はハイブリッド形式で行ないましたが、前年度よりもオンライン参加者の割合が増えました。</p> <p>専門研修は、対面形式で「性教育」をテーマとして、支援者が青少年と性に関して話ができることを目指して実施しました。参加者からは「性について学ぶ機会が少ないので勉強になった」「(性に関する知識を活用し)子どもにとってより良い支援をしていけたら」など、青少年との関りにヒントを得られたという感想が聞かれました。</p> <p>次世代人材の育成では、次代を担う大学生世代の若者が「子ども・若者の居場所」「地域の情報」の視点で取材や活動への参加を行ないました。参加した若者からは「自治体のイベントやポスターが自然と目に入るようになって、どういう人たちが運営しているのか気になるようになった」「経験を積んで自分の住んでいる地域に還元できたら」など、活動を通して若者の社会参加の推進、そして、若者と地域がつながる機会の創出にもなっていると感じています。</p>
	青少年活動や団体運営に役立つ講座	<p>活動に役立つ講座は、救命救急法、スマホを活用した動画作成、組織マネジメント、人間関係とコミュニケーションなど、団体運営や活動に役立つ考え方や手法を学べる研修として実施しました。</p> <p>特にスマホを活用した動画作成の講座は人気があり、参加者の要望に応じて後半に動画編集をテーマとして設定しましたが、年度末に近い日程だったことなどから不振に終わってしまいました。また、今年度は料金設定に関しては試行的に取り組んだものもありましたが、高くても集客可能な講座も確認できるなど一定の収穫もありました。</p> <p>今後は、内容はもちろん、開催日など、状況分析をしっかりと行ない実施できるよう検討していきます。</p>
	行政機関や青少年支援団体等と連携した人材育成	<p>団体と連携した人材育成では、昨年度も連携している「よこはまチャイルドライン」「横浜市母子寡婦福祉会」「神奈川子ども支援センター」のほか、「中区民生委員児童委員」「音で繋がろうプロジェクト」を含めた9団体と連携することができました。連携ではオンライン活用の提案や機材提供、技術サポートなど、新しい支援を行なうことができました。連携や協働を通じて築いた団体との信頼は、情報提供や共有など本事業以外の協力関係にもつながっています。</p>
	団体や人材の交流促進	<p>青少年育成関係者の交流勉強会（ユースゼミ）は、昨年度に続き、地域で子どもや若者に関わる若手スタッフの学び合いの場として開催しました。他分野の20～30代の若手職員が集まり、同世代の参加者同士が各々のキャリアや価値観を共有する機会は、自己のキャリアを考え、理解を深める機会となっています。参加者からは「他の参加者の言葉が、自身の活動・職業を彩光するきっかけとなりました」「自分の別の側面を新たに獲得できた」など好評であり、同世代で交流し意見交換する場の有効性をあらためて確認できました。</p> <p>横浜子ども・青少年に関わる活動関係者の大交流会は、今年度も感染拡大防止対策としてハイブリッド形式で開催し、29団体65人と前年度より多い参加がありました。ハイブリッド開催でしたが、オンライン参加は3人であり、昨年同様、リアルなつながりを求めていることが確認できました。子ども・青少年に関わる多世代、他業種人たちが、それぞれの活動や思いを共有しながらつながることのできる場として、重要な取り組みになっています。</p>

## 2022年度 横浜市青少年育成センター 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	46,304,000		46,304,000	47,108,000	△ 804,000	横浜市（物価高騰支援金804,000含む）
利用料金収入	1,900,000		1,900,000	1,564,850	335,150	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	400,000		400,000	604,061	△ 204,061	事業参加費ほか
自主事業収入	0		0		0	
雑入	350,000	0	350,000	376,144	△ 26,144	
印刷代	190,000		190,000	257,248	△ 67,248	プリントルーム使用料
自動販売機手数料	60,000		60,000	59,396	604	
駐車場利用料収入	0		0	0	0	
その他（ロッカー貸出）	100,000		100,000	59,500	40,500	
<b>収入合計</b>	<b>48,954,000</b>	<b>0</b>	<b>48,954,000</b>	<b>49,653,055</b>	<b>△ 699,055</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>22,000,000</b>	<b>0</b>	<b>22,000,000</b>	<b>24,178,575</b>	<b>△ 2,178,575</b>	
給与・賃金	17,668,000		17,668,000	19,980,844	△ 2,312,844	
社会保険料	3,000,000		3,000,000	2,632,297	367,703	
通勤手当	500,000		500,000	558,340	△ 58,340	
健康診断費	40,000		40,000	29,045	10,955	
勤労者福祉共済掛金	35,000		35,000	24,000	11,000	
退職給付引当金繰入額	757,000		757,000	954,049	△ 197,049	
<b>事務費</b>	<b>580,000</b>	<b>0</b>	<b>580,000</b>	<b>442,833</b>	<b>137,167</b>	
旅費	30,000		30,000	32,720	△ 2,720	
消耗品費	100,000		100,000	136,900	△ 36,900	事務物品（コピー用紙、文具、プリンタートナーなど）
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	110,000		110,000	103,698	6,302	施設パンフレット・チラシの作成費
通信費	60,000		60,000	0	60,000	
使用料及び賃借料	50,000	0	50,000	59,820	△ 9,820	
横浜市への支払分	50,000		50,000	59,820	△ 9,820	貸ロッカー設置に伴う目的外使用料
その他			0	0	0	
備品購入費	100,000		100,000	40,130	59,870	貸出物品購入ほか
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	30,000		30,000	11,000	19,000	
職員等研修費	50,000		50,000	26,000	24,000	事業実施に関する研修
振込手数料	50,000		50,000	32,565	17,435	
リース料	0		0	0	0	貸出事業にかかる経費として事業費に計上
手数料			0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
<b>事業費</b>	<b>7,400,000</b>	<b>0</b>	<b>7,400,000</b>	<b>6,752,391</b>	<b>647,609</b>	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	7,400,000		7,400,000	6,752,391	647,609	相談事業、教室（講座）事業、貸室事業にかかる経費 （事業スタッフ賃金、印刷機リース、諸謝金、広報通信費ほか）
自主事業費	0		0	0	0	
<b>管理費</b>	<b>13,960,000</b>	<b>0</b>	<b>13,960,000</b>	<b>14,160,932</b>	<b>△ 200,932</b>	
光熱水費	0	0	0	0	0	施設負担金として、設備保全費に一括計上（関内ホール）
電気料金	0		0	0	0	
ガス料金	0		0	0	0	
水道料金	0		0	0	0	
清掃費			0	0	0	施設負担金として、設備保全費に一括計上（関内ホール）
修繕費	1,800,000		1,800,000	762,300	1,037,700	小破修繕対応費
機械警備費			0	0	0	施設負担金として、設備保全費に一括計上（関内ホール）
設備保全費	12,160,000	0	12,160,000	13,398,632	△ 1,238,632	施設負担金（関内ホール）ほか
空調衛生設備保守	0		0	0	0	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	12,160,000		12,160,000	13,398,632	△ 1,238,632	施設負担金（13,140,000）、廃棄物処理費（115,594）、管理消耗品（143,038）
共益費	0		0	0	0	
<b>公租公課</b>	<b>1,972,000</b>	<b>0</b>	<b>1,972,000</b>	<b>3,500,000</b>	<b>△ 1,528,000</b>	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	1,967,000		1,967,000	3,499,800	△ 1,532,800	消費税
印紙税	5,000		5,000	200	4,800	
その他（ ）	0		0	0	0	
<b>事務経費（計算根拠を説明欄に記載）</b>	<b>2,042,000</b>	<b>0</b>	<b>2,042,000</b>	<b>2,030,418</b>	<b>11,582</b>	
本部分	1,105,000		1,105,000	1,500,000	△ 395,000	役員報酬・本部職員負担分
当該施設分	937,000		937,000	530,418	406,582	会計システム保守、動産保険負担金、税理士・社労士顧問料
<b>二一ス対応費</b>	<b>1,000,000</b>	<b>0</b>	<b>1,000,000</b>	<b>1,000,000</b>	<b>0</b>	
<b>支出合計</b>	<b>48,954,000</b>	<b>0</b>	<b>48,954,000</b>	<b>51,065,149</b>	<b>△ 2,111,149</b>	51065149
<b>差引</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>△ 1,412,094</b>	<b>1,412,094</b>	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支	0			0		
管理許可・目的外使用許可収入	0			59,396		
管理許可・目的外使用許可支出	0			59,820		
管理許可・目的外使用許可収支	0			△ 424		